

HACOBU

中国運輸局 2024年問題オンライン説明会

Hacobuが提供するサービス・事例のご紹介

2023/11/24



HACOBU
STRATEGY

Confidential





取締役 COO 坂田 優（さかた まさる）

2016年1月よりHacobu創業に参画し、プロダクト開発にも従事。荷主企業（メーカー、卸、小売）、3PL事業者、運送会社といった物流にかかわるあらゆるレイヤーの企業のDXに携わり、変革を支援。

ミッション：運ぶを最適化する

創業

2015年6月

従業員数

約130名

資本金

約38億円

ASKUL

SONY



Daiwa House



豊田通商



三菱倉庫



日本郵政



野村不動産



HINO



三井不動産
MITSUI FUDOSAN



BIPROGY



※出典：JILS「2021年度 物流コスト調査報告書【概要版】」（2021）10頁及び
矢野経済研究所「2021年版 ラストワンマイル物流市場の実態と展望」（2021）
(https://release.nikkei.co.jp/attach/614407/02_202107121514.pdf) より当社推計

持続可能な物流インフラを創る

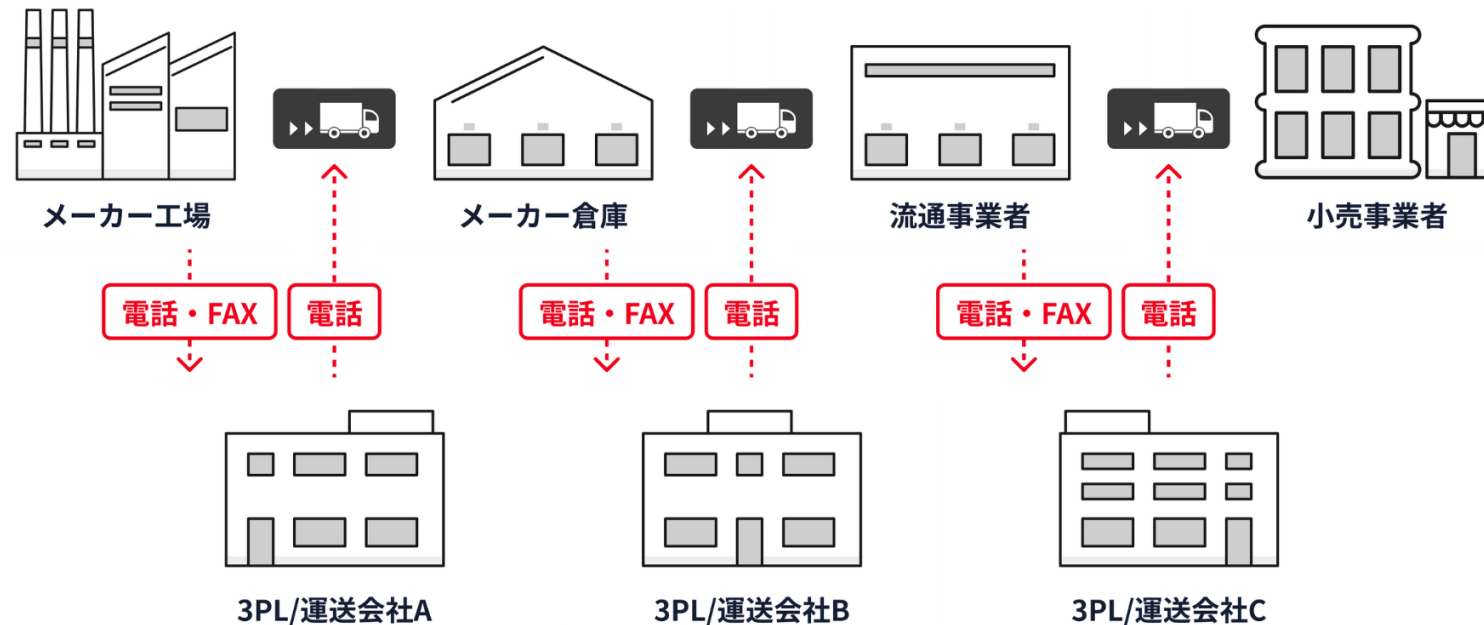
物流SaaS事業



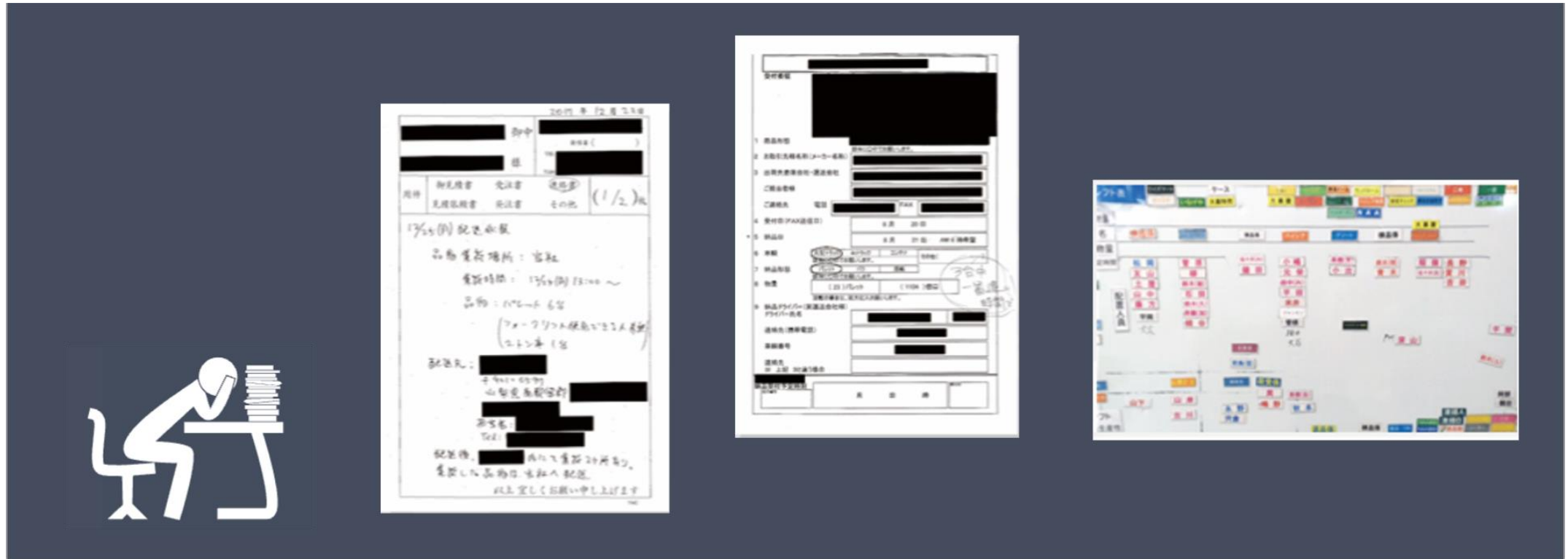
物流DXコンサルティング

HACOBU
STRATEGY

様々な関係者が存在する企業間物流

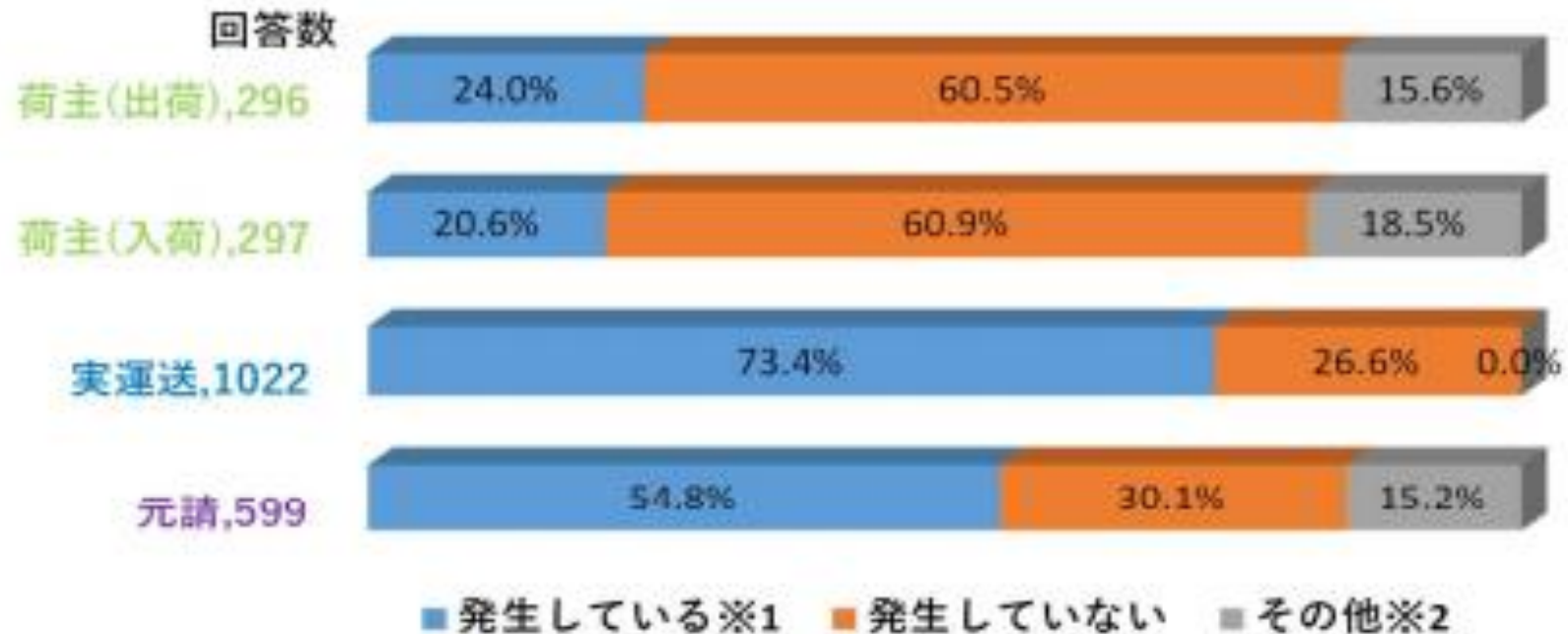


アナログなコミュニケーション



データがないので認識が揃わない

荷待ち時間の発生有無に対する認識



※1：荷主調査では「時間までは把握していない」を含む

※2：荷主調査では「把握していない」を含む、事業者調査（元請）では「不明」を含む

出典：トラック輸送状況の実態調査結果（2021年）

ミッション

運ぶを最適化する

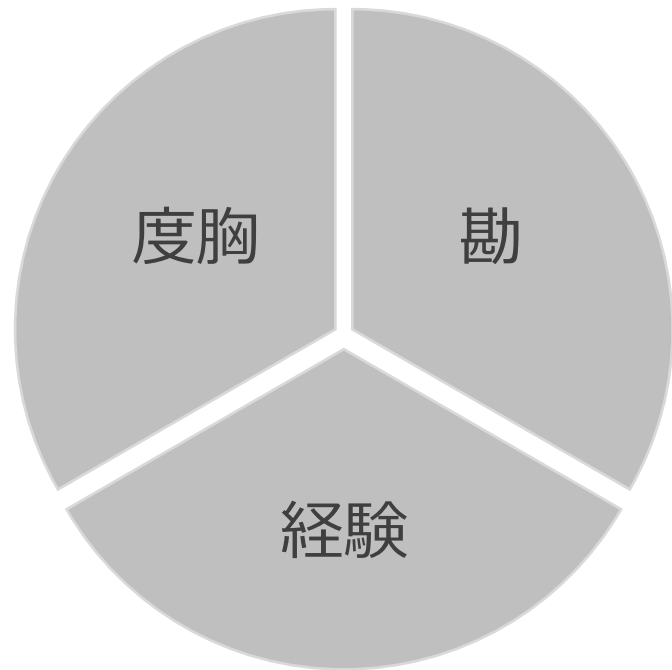
信念

データドリブン・ロジスティクスが
社会課題を解決する

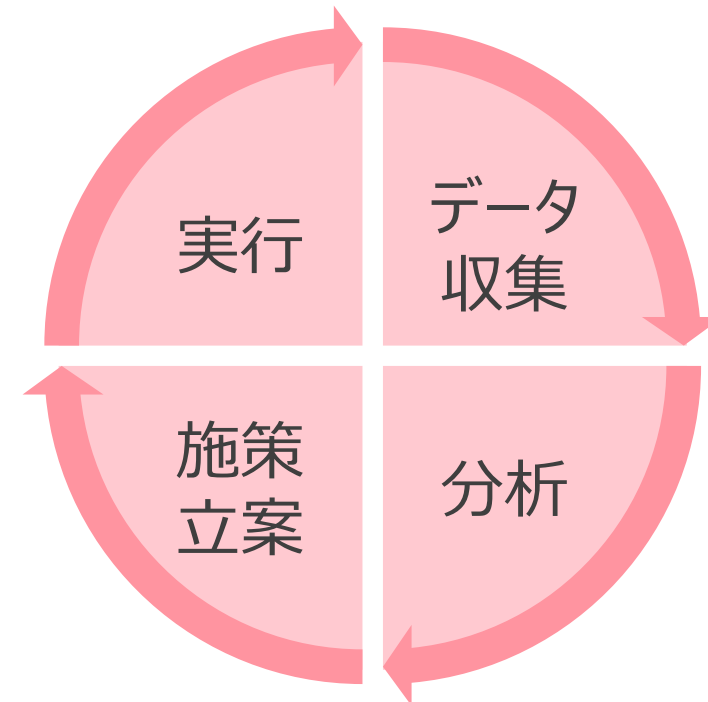
データドリブン：データにもとづく

データにもとづく物流の世界を「データドリブン・ロジスティクス®」と呼び、その実現に邁進しています

KKD Logistics



Data-Driven Logistics®



MOVOは物流現場の課題を解決するとともに、物流をデータで可視化するための物流DXツールです

トラック予約受付サービス

MOVO Berth

(ムーボ・バース)

物流センター・工場運営の生産性向上を支援！

- 車両待機問題の解消
- 計画的な庫内作業の実現
- 車両やバースの状況を即座に共有
- 接車誘導や伝票突合せの工数削減



(※) 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所、『スマートロジスティクス・ソリューション市場の実態と展望【2022年度版】』<https://mic-r.co.jp/mr/02560/>

動態管理サービス

MOVO Fleet

(ムーボ・フリート)

車両管理の効率化で、荷主と運送会社双方のコスト削減を実現！

- 走行データを蓄積し活用
- 遅延見込みを自動で通知
- 自社・傭車を一括で管理
- 配送効率の向上

配車支援サービス

MOVO Vista

(ムーボ・ヴィスタ)

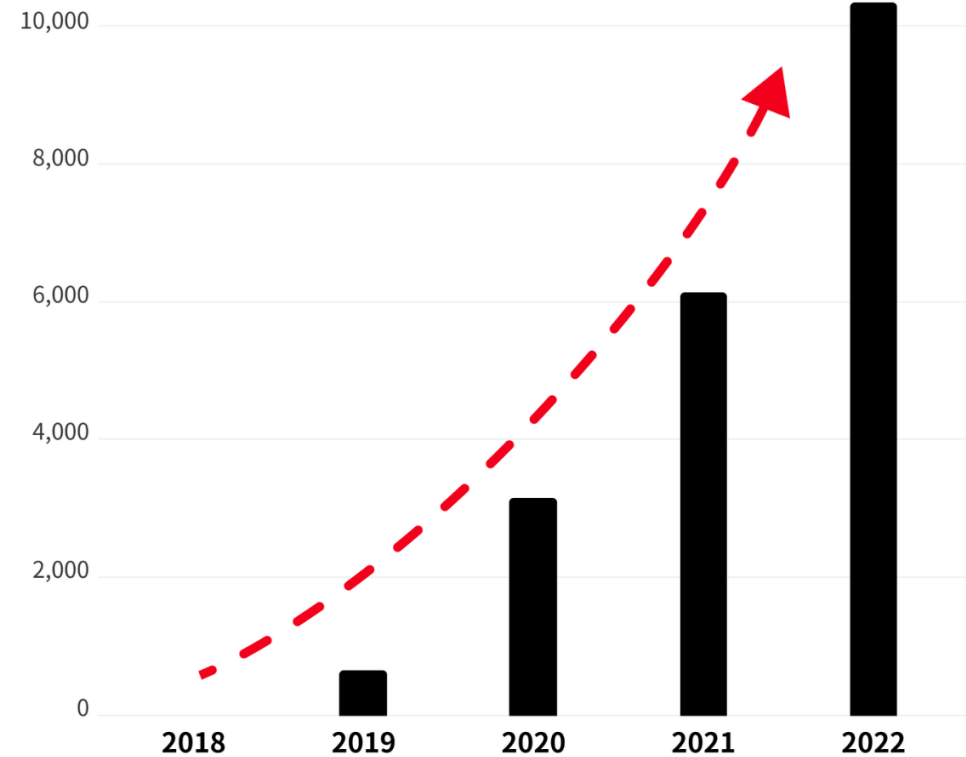
配車業務をデジタル化し、生産性向上を支援！

- FAX、電話、メールのコミュニケーションをデジタル化
- オンライン上での受発注・請求管理
- リアルタイムな納品確認

メーカー		小売	
<p>飲料・食品</p>	<p>日雑・製紙</p>		
<p>自動車・重工業</p>	<p>化学・医薬品</p>	<p>卸</p>	
<p>電機</p>	<p>アパレル</p>		
物流・倉庫			

**利用事業所数
1万5,000超**

MOVO利用事業所数の推移

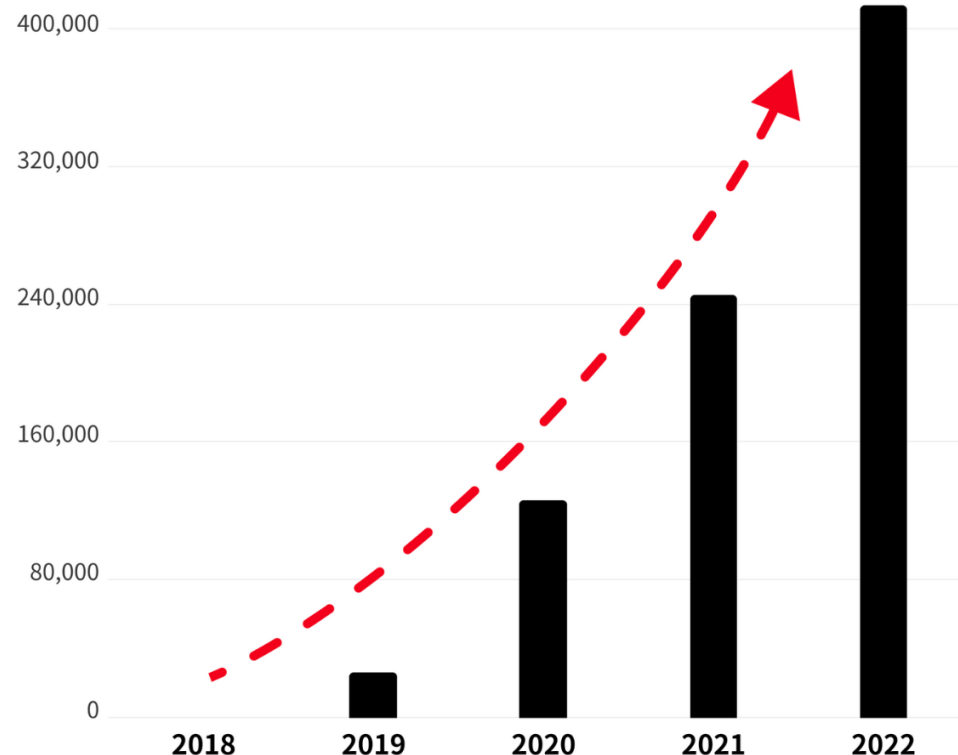


(*1) 利用事業所数とは、MOVO 導入拠点に加えてMOVO を利用する事業所数のアカウントを合計した数字

累計登録 ドライバー数 48万超^(*1)

国内トラックドライバーの
2人に1人相当!^(*2)

登録ドライバー数の推移



(*1) 累計利用ドライバー数とは、利用者が「MOVO Berth」を利用する際に登録するドライバー電話番号のID数
 (*2) 国土交通省「物流生産性向上に資する幹線輸送の効率化方策の手引き」より2015年の従事者数 76.7万人を基に試算
<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/content/001415371.pdf>

入場予約・入退場受付によって、物流センター・工場における車両待機の改善や生産性向上を支援するサービス



- 入場時間・物流情報を事前共有
- バース作業計画の立案



- バース作業の状況を共有
- 受付・誘導の電子化

車両待機の解消

- 車両の入場時間を分散し、計画的な入出荷作業で待機問題を解決



庫内作業の生産性向上

- 車両の到着順が事前に分かるため、前もって荷揃えをする等、当日の作業効率化につながる



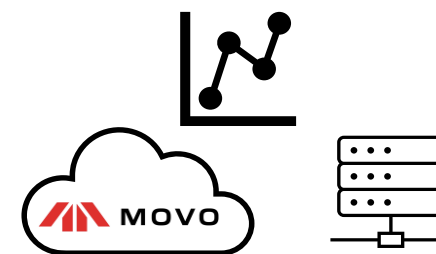
情報共有を円滑に

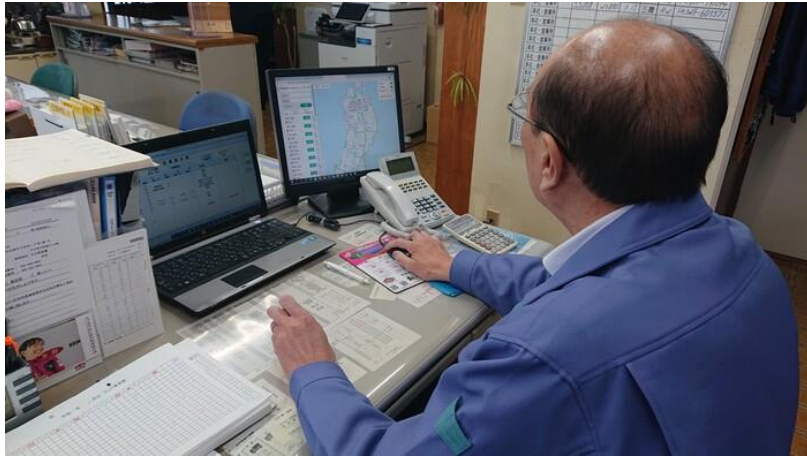
- 車両の到着状況を受付・構内作業で共有
- 車両の誘導もSMSやアプリでの通知でスムーズに



実績データの取得・蓄積

- 待機や作業にどれくらい時間がかかっているかを車両ごとに可視化し、改善すべき点を確認可能





配車マン（運送会社）



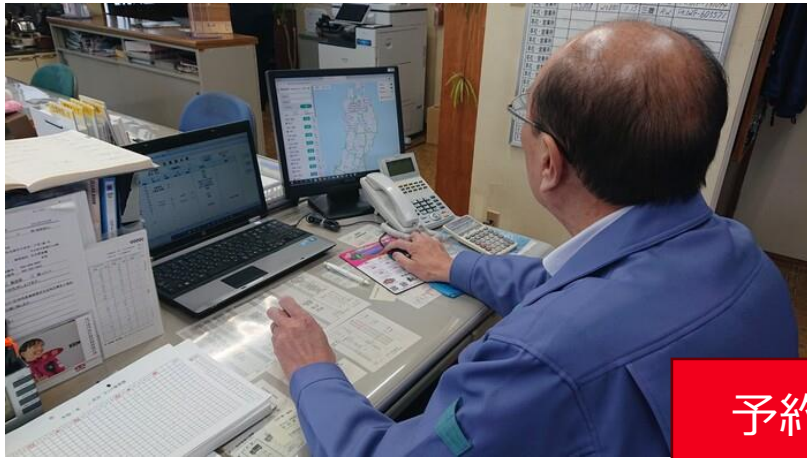
事務員/受付（拠点）



ドライバー



作業者（拠点）



配車マン（運送会社）

予約



予約



事務員/受付（拠点）

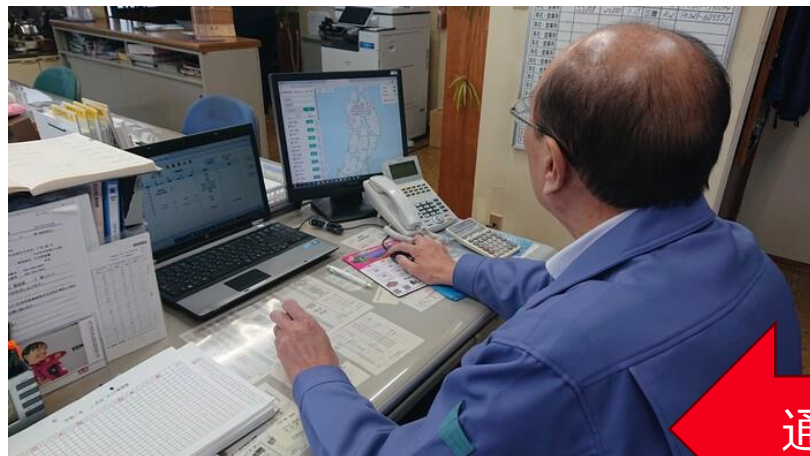


ドライバー

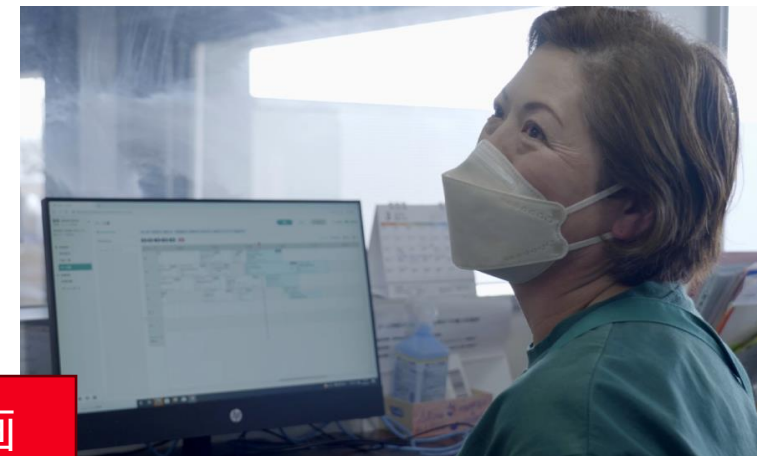


作業者（拠点）

②前日または当日（このステップを挟まないケースもある）



配車マン（運送会社）



事務員/受付（拠点）

通知

計画

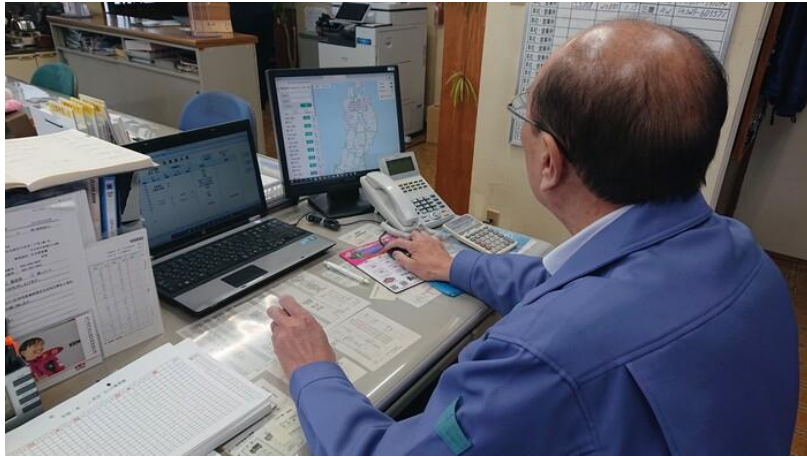
通知



ドライバー



作業者（拠点）



配車マン（運送会社）



事務員/受付（拠点）



ドライバー

入場
受付



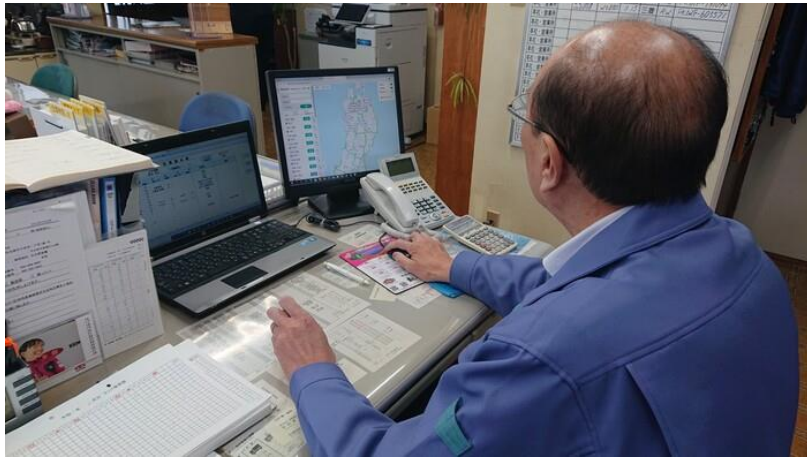
通知

通知



作業者（拠点）

③当日（遅延する場合）



配車マン（運送会社）



事務員/受付（拠点）



ドライバー

遅延
連絡

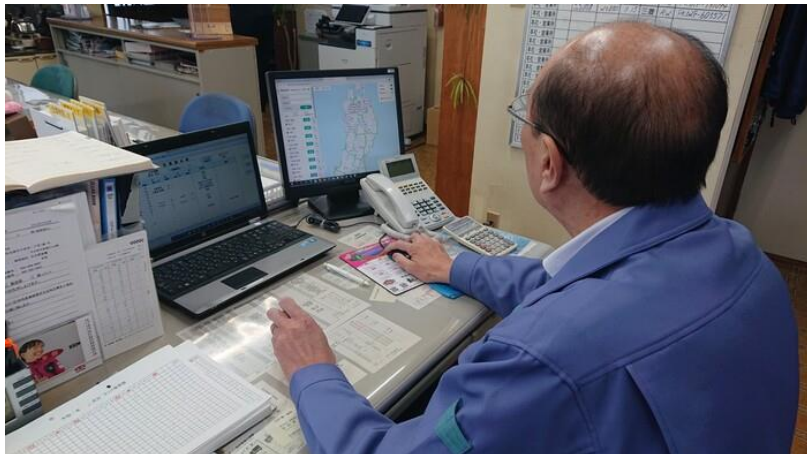


通知

通知



作業者（拠点）



配車マン (運送会社)



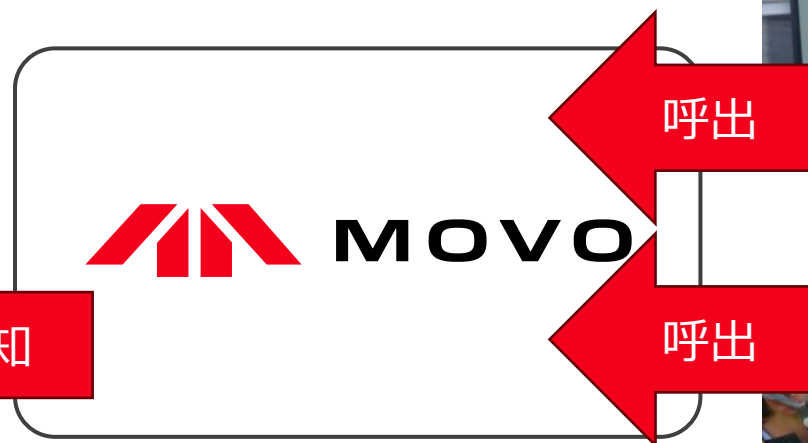
事務員/受付 (拠点)

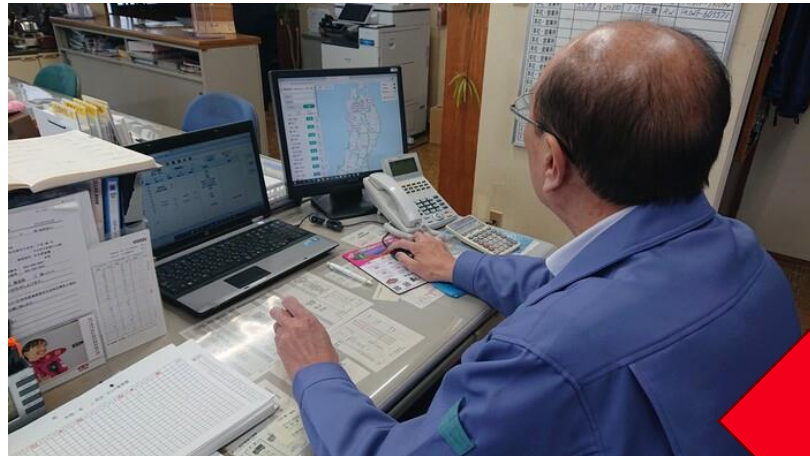


ドライバー



作業者 (拠点)





配車マン（運送会社）



事務員/受付（拠点）

情報共有

情報共有



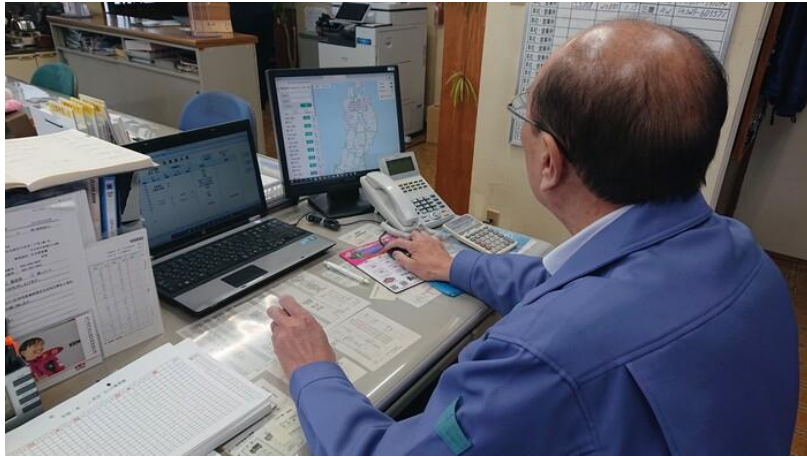
作業登録



ドライバー



作業者（拠点）



配車マン（運送会社）



事務員/受付（拠点）



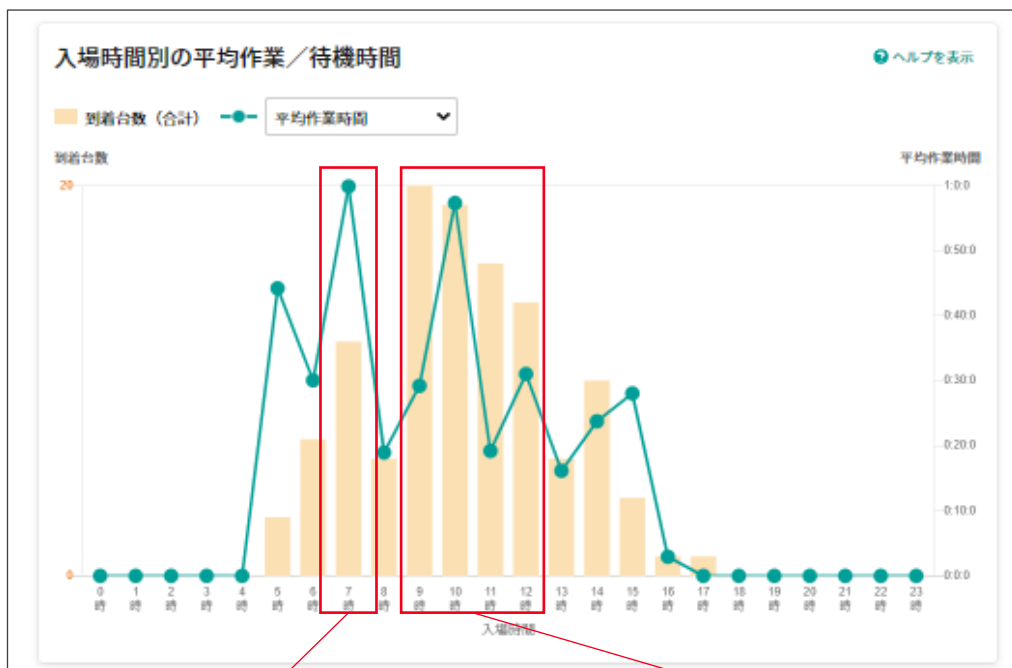
ドライバー



作業者（拠点）

入退場および作業時間の実績はダッシュボード上で確認。CSVでダウンロードも可能

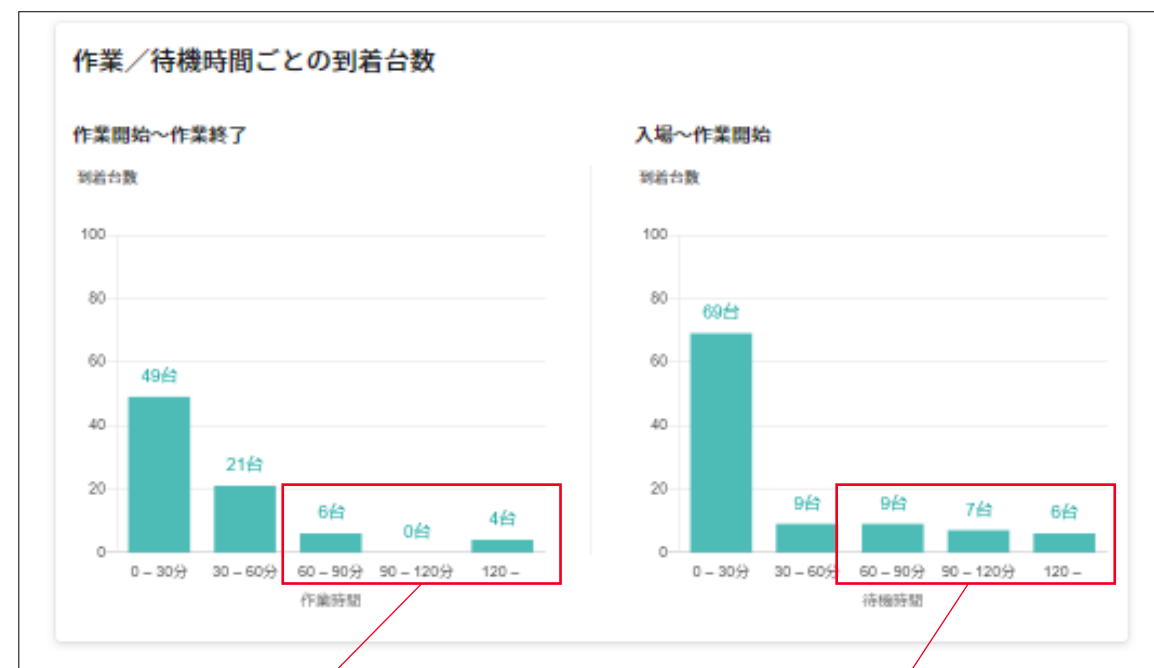
入場時間別の分析



早朝の作業に1時間かかっている
→前日の準備で効率化できないか

午前中に車両が集中している
→午後へ分散し効率化できないか

作業・待機時間別の分析



作業時間が1時間以上の車両が10台
→原因は何か

待機時間が1時間以上の車両が25台
→原因は何か

荷主・本社

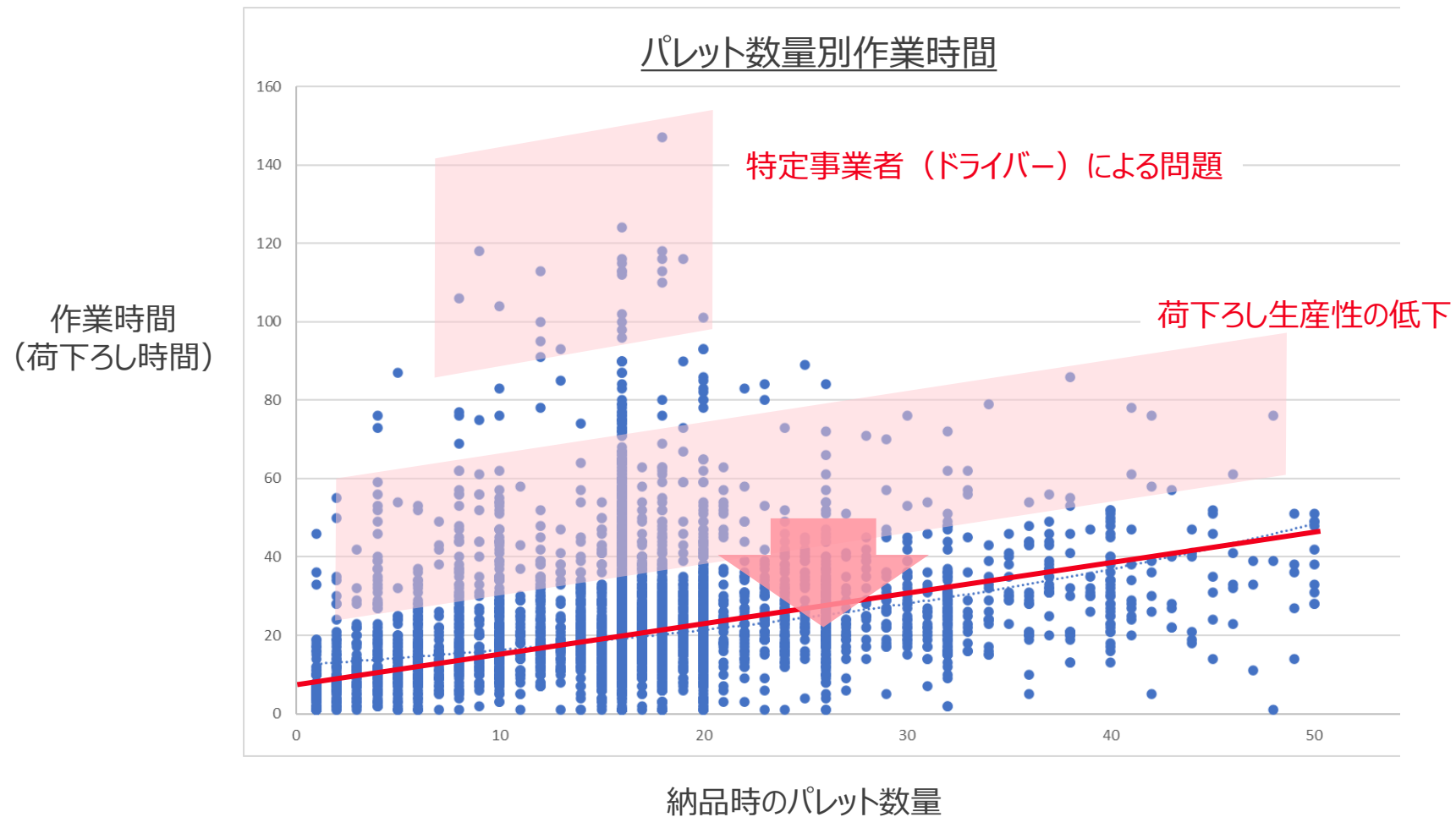
データで現場のことが
わかった！



ドライバー・現場

デジタルツールで
仕事が楽になった！

荷量情報と作業実績データにより、パレット数量ごとの作業時間（生産性）を可視化することで問題点を特定



作業開始時間を後ろ倒しすることで、入荷検品人時を1か月あたり78人時削減した事例

Before

単位：車両台数

バース名	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00
B	0	2	0	0	0	0	0
C	2	2	1	0	0	0	0
D	1	2	1	0	0	0	0
E	1	2	1	1	0	0	0
F	1	0	1	0	0	0	0
G	0	2	0	1	0	0	0
H	1	0	2	1	0	0	0

合計	6	8	6	3	0	0	0
----	---	---	---	---	---	---	---

8時から荷受けしていたが、10時以降の入荷車両がほとんどなく、構内作業員はアイドルしていた

After

単位：車両台数

バース名	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00
B	0	1	0	0	0	0	0
C	0	2	1	2	0	0	0
D	0	2	1	2	0	0	0
E	0	2	1	1	0	0	0
F	0	0	1	1	0	0	0
G	0	1	1	1	0	0	0
H	0	0	1	1	2	0	0

合計	0	8	7	7	4	1	0
----	---	---	---	---	---	---	---

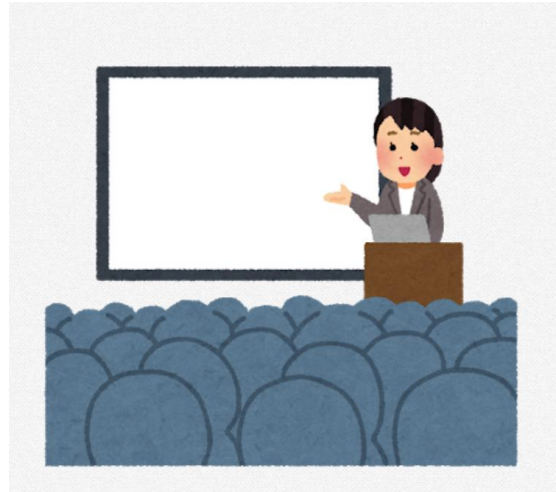
入荷時間を30分後ろ倒ししても、午前中に入荷作業は完了できた

導入後の改善施策

- 入荷作業時間を後ろ倒しすることによる、懸念点を洗い出した（入荷後の格納、補充、事務処理等への影響）
- トライアルとして、3日間入荷時間の後ろ倒しを行い、懸念事項をクリアした
- 入荷検品者の出社を30分後ろ倒しすることで、78人時/月の削減ができた



導入前後のお客様



運用設計

契約開始と同時に導入前の事前打合せを行います

現場・取引先への説明会
推進責任者様が中心となり実施いただきます

準備期間

本稼働前の準備に際し、不明点等適宜ご相談承ります

本稼働

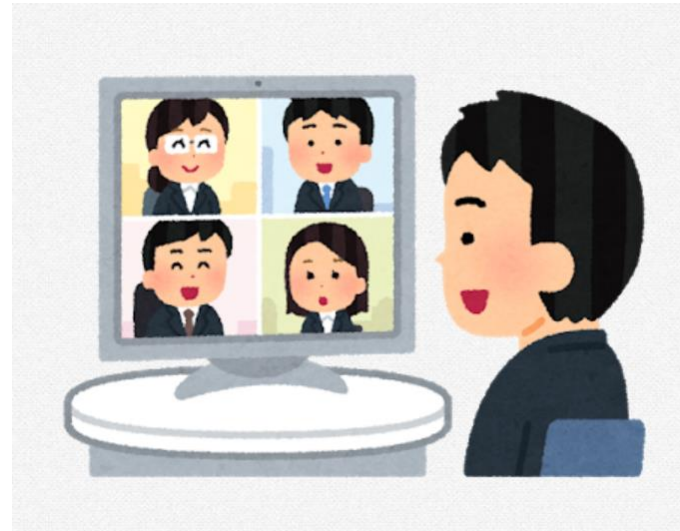
おめでとうございます！
定着に向けてあと一步！

導入支援：1-2か月



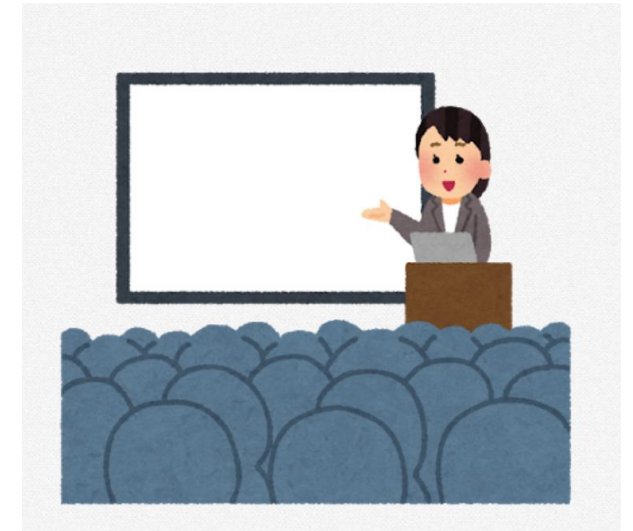
導入振り返り

導入支援完了時に、データを見ながら振り返りを行います



定着・活用・成果出し

ユーザ・コミュニティへのご参加等、更なる活用にお役立てください



成功拡大・横展開

成功事例として社内共有し、改善・改革を横展開

活用・成功・成功拡大に向けて

MOVOを通じて物流を改善、改革しようとする方々が集う場です

- 他社の取り組みが、自社の悩みを解消するヒントになることもあるから
- 変革の道のりは厳しいが、ともに進む仲間の存在に励まされるから
- 物流課題は、一社では解決できないから



ガイドラインにおける取り組み事項を全面的にご支援可能です

物流業務の効率化・合理化

荷待ち・荷役時間の把握・削減

- 荷待ち時間・荷役作業等にかかる時間の把握
- 荷待ち・荷役作業等時間を2時間以内へ（目標は1時間以内）

荷主が主体者として、物流の改善提案と協力を行う

- 荷主企業内で役員クラスの物流管理統括者（CLO）を選定
- 発荷主、着荷主、物流事業者が協力して物流改善に取り組む



運送契約の適正化

運送契約の書面化

- 口頭等での依頼も多いが、書面や電子的方法での記録を原則に

下請取引の適正化

- 運賃と料金の別建て契約
- 多重下請け構造を是正



輸送・荷役作業などの安全の確保

異常気象時等の運航の中止・中断など

- BCP対策を検討していく必要性



#新しい資本主義 #成長戦略

我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議

更新日：令和5年6月2日 | 総理の一日

ツイート シェアする LINEで見る



会議のまとめを行う岸田総理1

2023年6月2日

物流革新のための
政策パッケージ



2024年春/夏

通常国会法制化

https://www.go.movo.co.jp/WP202309_Policy-Package_LP.html

HACOBU

法制化前に知りたい
物流革新政策パッケージの全貌

2023年9月

 MOVO

HACOBU
STRATEGY

Confidential



HACOBU STRATEGY

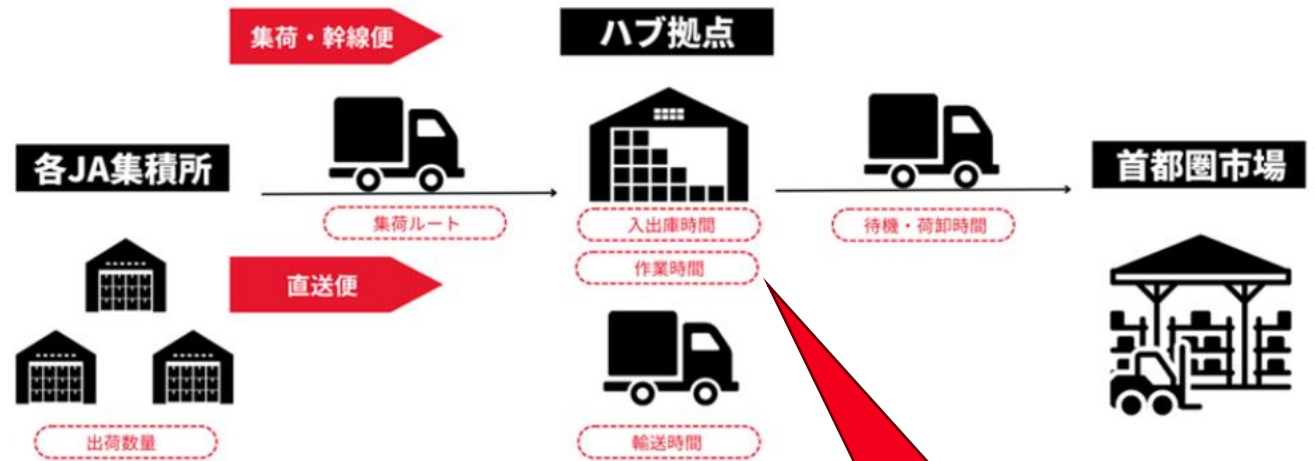
秋田県トラック協会、国土交通省等が取り組む

首都圏向け青果物の 物流効率化 実証実験

3年連続参画

2023年度・実証実験の概要

集荷・幹線便と直送便の組み合わせにより
積載率向上と拘束時間削減を両立できる輸送体制の確立を目指す



ハブ拠点にて
MOVO Berthを
活用

総運行時間は、1週間で199.7時間（22.9%）削減

▼現状

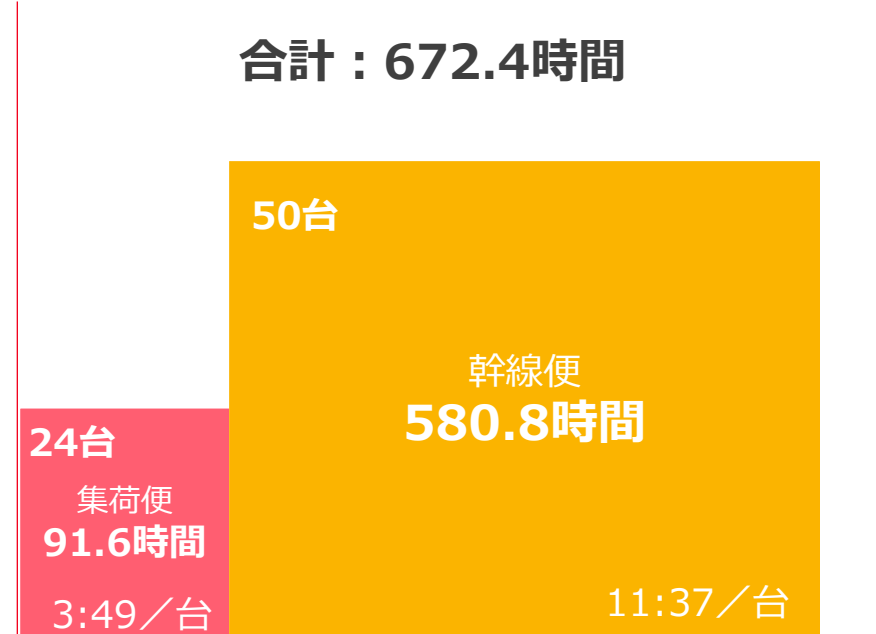
↑運行台数



→運行時間

▼施策実施後

↑運行台数



合計 : 672.4時間

199.7時間
(22.9%)
削減

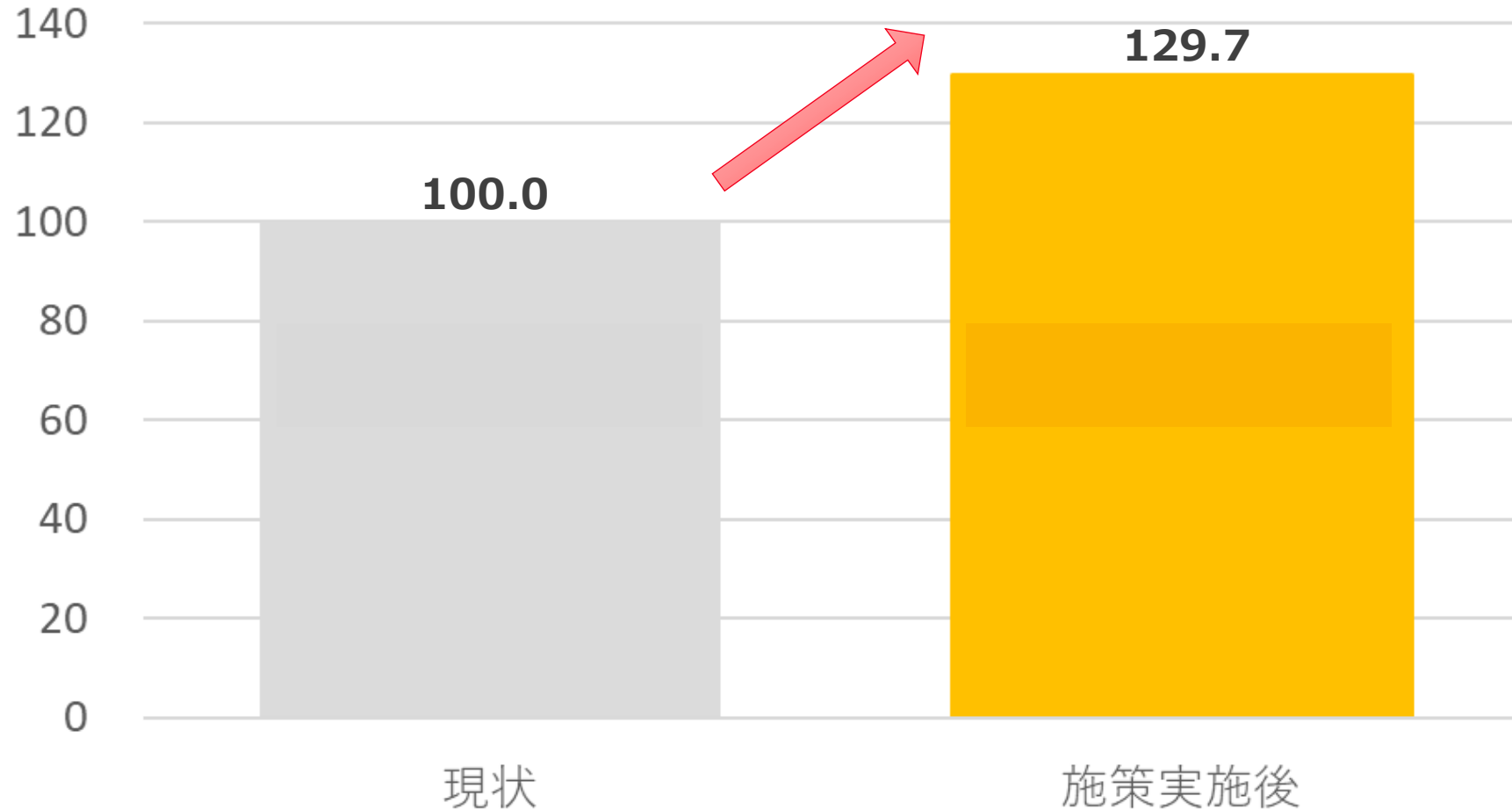


合計 15:26

→運行時間

労働時間の削減により、ドライバーの生み出す付加価値（時間あたり売上）が増加

▼ドライバー 1 時間当たりの売上（現状の売上を100としたとき）



▼ 1 時間あたり売上の算出式

$$\frac{\text{1 週間の売上}}{\text{総労働時間}} = \text{1 時間あたり売上}$$

HANCOBU